



平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 ランシステム
 コード番号 3326 URL <http://www.runsystem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 面高 英雄

TEL 03-6907-8111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	4,362	3.6	14	76.3	11	83.2	26	
29年6月期第2四半期	4,212	2.6	60	43.5	65	39.9	8	

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 2百万円 (%) 29年6月期第2四半期 16百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	13.70	
29年6月期第2四半期	4.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第2四半期	5,405	1,723	31.9	888.00
29年6月期	5,460	1,725	31.6	889.31

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 1,723百万円 29年6月期 1,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		0.00	0.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年6月期の期末配当予想については未定です。

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	6.3	250	165.8	220	116.7	60		30.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期2Q	2,070,900 株	29年6月期	2,070,900 株
期末自己株式数	30年6月期2Q	130,300 株	29年6月期	130,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期2Q	1,940,600 株	29年6月期2Q	1,966,144 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善が進み、雇用・所得環境は緩やかな回復基調にあるものの、消費者の節約志向は根強く、また、アジア新興国等の景気の下振れの懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。サービス業・アミューズメント業界においても、社会保障費用や最低賃金の上昇、若年層人口の減少による雇用確保の問題が顕在化するなど、厳しい環境が継続しております。

このような経営環境のもと、当社グループは「基本の徹底」「安定した財務基盤の構築」「新規事業の拡張」に注力し、既存の主力事業である店舗運営事業の健全な運営とその強みを活かした関連事業における収益の拡大、新規業態店舗の開発等に努めて参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,362百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益14百万円(同76.3%減)、経常利益11百万円(同83.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失26百万円(前年同期は8百万円の損失)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

<店舗運営事業>

当事業につきましては、複合カフェ「スペースクリエイティブ自遊空間」チェーンにおいて設備やサービスの拡充、イベントの企画運営を図り、集客力の高い店舗開発と、より快適な空間を提供できるよう一層のサービス向上に努めております。店内設備においては、日々のお客様のニーズに合った環境を整えるため店内の改装を実施し、デラックスブース等の稼働率の高いブースに入れ替えを行っております。また、人気コンテンツである最新オンラインゲームやカラオケ、ダーツの最新機種を導入によって常に新鮮な店内環境を構築しております。その他、ヴァーチャルリアリティー(VR)を体験できるヘッドマウントディスプレイ(HMD)を直営店全店とフランチャイズ店舗にも導入しております。VRは市場の関心も高く、今後も設置店舗を増やし、自遊空間オリジナル映像を配信するなどしてコンテンツ価値の向上を図って参ります。加えて、スマートフォン向け会員証アプリ・ゲームを継続的に推進し、既存会員の来店数の向上と新規顧客の誘致に努めております。

当事業における新たな取組みとして、自動入場や自動精算などのシステム構築を進めており、一部店舗においては、セルフオペレーションや事前予約システムを導入した、対人オペレーションを介さずにご利用いただける店舗にリニューアルいたします。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は3,775百万円(前年同期比4.7%増)、セグメント利益は135百万円(前年同期比31.3%減)となりました。

当第2四半期連結会計期間末時点では190店舗(直営店舗80、FC加盟店舗110)となりました。

<不動産事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は189百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益は55百万円(前年同期比31.4%増)となりました。

上記事業の他に、システム等の外販事業及びメディア広告事業、子会社である株式会社ランウェルネスにおいて児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を運営しております。システム等の外販事業では、入会システム、会員管理システム等を販売しております。メディア広告事業では、主に自遊空間店内外における広告営業やスマートフォン向けアプリの開発及びアプリを活用したサービスを実施しております。児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業では、放課後等デイサービス施設「ハッピーキッズスペースみんと」を8施設運営しており、児童・生徒の発達支援に関するサービスを行っております。「みんと」では、独自の療育プログラムに基づき、お子さま一人ひとりが自立し健やかに育むことができる環境を整えております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,513百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円増加しました。これは主に現金及び預金が105百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は3,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少しました。これは主に土地が47百万円減少したことと敷金が47百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は5,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少しました。これは主に買掛金が65百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は2,285百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加しました。これは主に長期借入金が21百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は3,682百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少しました。これは主に利益剰余金が26百万円減少したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は31.9%（前連結会計年度末は31.6%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、今後の出店計画や店舗売上高に与える影響や開発中の新製品及びサービスの運用時期の変動などの不確定要因があるため、現時点においては前回予想通りとし、修正は行っておりません。なお、数値が確定した結果、適時開示基準に該当し、開示の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,462	662,639
売掛金	271,429	279,373
商品及び製品	242,207	224,655
原材料及び貯蔵品	63,276	68,586
未収還付法人税等	22,358	—
その他	308,306	281,222
貸倒引当金	△2,561	△2,757
流動資産合計	1,462,479	1,513,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,332,547	1,362,916
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	282,663	286,398
土地	732,243	684,556
建設仮勘定	35,013	—
有形固定資産合計	2,382,468	2,333,871
無形固定資産		
のれん	79,626	68,125
その他	117,127	101,108
無形固定資産合計	196,753	169,233
投資その他の資産		
敷金	1,169,385	1,122,093
その他	290,966	308,082
貸倒引当金	△42,004	△41,366
投資その他の資産合計	1,418,348	1,388,809
固定資産合計	3,997,569	3,891,914
資産合計	5,460,049	5,405,635
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,458	235,069
短期借入金	150,000	150,000
1年内償還予定の社債	50,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	515,277	530,796
未払法人税等	32,385	54,443
資産除去債務	18,986	19,703
その他	385,723	366,582
流動負債合計	1,452,831	1,396,595
固定負債		
社債	50,000	30,000
長期借入金	1,708,664	1,730,316
資産除去債務	239,143	229,547
その他	283,617	295,925
固定負債合計	2,281,424	2,285,788
負債合計	3,734,256	3,682,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,314	803,314
資本剰余金	841,559	841,559
利益剰余金	166,258	139,677
自己株式	△92,469	△92,469
株主資本合計	1,718,663	1,692,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,129	31,168
その他の包括利益累計額合計	7,129	31,168
純資産合計	1,725,792	1,723,251
負債純資産合計	5,460,049	5,405,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,212,523	4,362,521
売上原価	3,600,476	3,804,089
売上総利益	612,047	558,431
販売費及び一般管理費	551,336	544,036
営業利益	60,711	14,395
営業外収益		
受取利息	871	840
販売手数料収入	13,409	4,526
その他	359	3,467
営業外収益合計	14,640	8,834
営業外費用		
支払利息	6,465	8,349
控除対象外消費税等	1,478	3,304
その他	1,850	549
営業外費用合計	9,794	12,204
経常利益	65,557	11,025
特別利益		
固定資産売却益	337	78,897
特別利益合計	337	78,897
特別損失		
固定資産除却損	11,915	134
店舗閉鎖損失	—	10,628
減損損失	25,482	74,868
特別損失合計	37,398	85,631
税金等調整前四半期純利益	28,496	4,292
法人税等	36,649	30,873
四半期純損失(△)	△8,153	△26,580
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,153	△26,580

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△8,153	△26,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,732	24,039
その他の包括利益合計	△8,732	24,039
四半期包括利益	△16,885	△2,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,885	△2,541
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。